



開物成務

平成30年 9月 5日(水)発行

校長 津田 将美

開成小学校に、子どもたちの笑顔がもどってきました。明るい声が響き、教室も廊下も活気にあふれています。

始業式では、1学期の終業式に話した「3つのお願い」について確認しました。

1つ目は、「防犯教室」や「自転車の安全な乗り方教室」「海辺の安全教室」などを通して学んだことを生かし、いのちを大切に、安全に過ごしてほしいこと。

2つ目は、8月6日、9日、15日にニュース等を観てほしいこと。もちろん、広島、長崎の原爆のこと、終戦記念日のことについてです。

そして3つ目は、長い休みである夏休みにしかできない思い出を作してほしいこと。子どもたち一人一人の生き生きとした顔を見ると、充実した夏休みを過ごすことができたんだな、と感じます。

忘れていたらこちらから言ってしまうかと思っていたのですが、3つの約束すべてを子どもたちは、答えてくれました。さすが、開成小学校の「すてきさん」たち、話をしながら、私も思わずニコニコしてしまいました。

この後、夏休みの思い出話をしながら、とても心に残った近藤紘子(こうこ)さんのテレビインタビューについて、話をしました。8月5日に放映されたものです。

近藤さんは、生後8カ月のとき広島で被爆しました。爆心地から1.1キロの地点にいたにもかかわらず、母親と共に奇跡的に助かります。

近藤さん母子が被爆をした時に、父親は、山で作業をしていたそうです。街のあまりの惨状に必死に家に向かいます。数キロメートルを走る途中、「助けてくれ」「水をくれ」という声をたくさん聞いたそうです。お父さんは何もかも振り切るように、とにかく家族の無事を確認しに走ったそうです。

幸い家族は無事だったということですが、この時の経験が近藤さんのお父さんの大きな後悔となり、その後の被爆した少女や孤児の救済活動、渡米治療等の取り組みにつながります。

近藤さんは、知り合いの若い女性の顔のひどい火傷の跡を見て、優しいお姉さんたちをそんなひどい目に合わせたのが原爆だと知ります。そして、子ども心に、B-29エノラ・ゲイに乗っていた人を探して、なぐったり蹴ったりしてやろうと考えていたそうです。爆弾を落とした人間は悪い奴で、自分は正しい人間だと、そう思っていたとも…。

何年かたって、お父さんの活動が評価され、アメリカのテレビ番組に出演することになったそうです。家族出演と言う、お父さんへのサプライズの演出だったようですが、そこで出会ったのが、エノラ・ゲイの副操縦士でした。会ったらいつか仕返しをしてやろうと思っていた相手が目の前にいることを知り、近藤さんはじっとその人をにらみつけました。ところが、その人はお父さんの顔を見たとき涙をぽろぽろと流して、謝ったそうです。あっという間に消えてなくなった広島を空から見て、「自分は何ておそろしいことをしてしまったのか」と後悔の気持ちを涙ながらに語っていきました。悪人だと思っていたその人も、何年も苦しみつづけてきたという事実を知り、近藤さんは相手を一方的に恨んでいた過ちに気づきます。この人はこんなに苦しんでいる。自分だってお母さんの言うことを聞けなかったり、友だちに対して嫌な

ことをしてしまったり、自分の思い通りにいかないことがあると怒ったりするのに…。その人にも苦しみがあり、自分の中にも悪があることを知った近藤さんは、自分の考えが180度変わり、これまで見えていた景色が一変したということです。

6年生の国語の教科書に、「平和のとりでを築く」という教材があります。その中に、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」

という、ユネスコ憲章の前文が紹介されています。この文章は、つくづく真実だと思います。そして近藤さんのインタビューを聞いた後に、この言葉を思い出しました。

戦争のない平和な世界を築くには、「まずは近くの人を大切にする」ことが大切なのだと思います。そして、このことこそ、簡単なようで難しいことなのです。まずは、自分の中にある「悪い心」に気づくこと。そして注意深くそれをなくす努力をすること。そして自分の周りにいる誰をも大切にできる心を自分自身で育てていくこと。

「きっと、学校生活の中でもできるはず。」

そんなことを子どもたちが感じてくれるといいな、と思いました。1年生から6年生まで、真剣に聞いてくれてうれしかったです。

実はこの話には、自分自身の反省も含めて「つづきのお話」があります。時間の関係で伝えることができなかったのも、また朝会等の機会に子どもたちに話したいと思います。この学校だよりでもその時にお伝えできればと考えています。

子どもたちと共に、誰をも大切にできる、誰もが大切にされる学校をめざしていきたいと思います。2学期もよろしくお願いいたします。

自転車の安全な乗り方大会

8月23日(木)に南足柄市体育センターにて「足柄上地区自転車の安全な乗り方大会」が行われました。開成小学校からは、5年生の8名(1チーム4名ずつの2チーム)が参加しました。

夏休み中に一生懸命練習した成果を発揮し、見事「優勝」というすばらしい成績を収めました。選手たちは、約2週間、一生懸命勉強、練習を積み重ねて大会に臨みました。優勝は1チームでしたが、8人全員の努力の結晶だと思います。当日も、とてもいい表情で競技に参加し、堂々と演技していました。その中に、友だちとの声かけや励ましもたくさん見られました。

28日(火)の全校登校日に、全校の前で「自転車の安全な乗り方」の模範演技をしてもらいました。淡いオレンジのユニフォームでそろえた8人は、堂々と胸を張って演技をしていました。それを観ている子どもたちにとっても、あこがれの対象や「いのちを守る」ための素敵な見本となりました。



登校日に行われた模範演技

夏休み中の諸研修会

- 7月25日(水) 不祥事防止研修会
- 8月17日(金) 足柄上郡小学校教育研究会
体育実技校内研修会
- 8月20日(月) 阿波踊り研修会
- 8月21日(火) 児童指導研修会
教育課程研究会
- 8月22日(水) 安全研修会(不審者対応)
- 8月23日(木) 校内人権研修会
開成町教育講演会
- 8月28日(火) 校内研究会

夏休み、私たち教職員も「夏休みにしかできない体験」を積みながら、諸研修会も重ねてきました。子どもたちの楽しい体験や思い出を聞きながら、私たちが学んだこと、経験したことも子どもたちに語り、教育現場に活かしていけるようにします。

9月3日着任職員の紹介

劔持 雅志(けんもつ まさし)先生の後任として、中野 幸尚(なかの ゆきひさ)先生が着任しました。担当教科は劔持先生を引継ぎ、2、3年生算数(T.T、少人数指導)と3年生書写を受け持ちます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。